

令和3年度 第1回堺市東区政策会議 議事要旨

開催日時 令和3年7月26日(月) 午後3時00分から午後4時34分
開催場所 東区役所 4階大会議室
出席構成員 池崎守、金牧かおり、川上浩、北井道子、小西貢、坂井茂子、城岡キヌ子、
鈴木義規、高落俊次、辻有理、西野巳佐夫、林聡子、福田崇子、正木幸彦、
森田法子、山本淳一、米田眞利、渡士晶子(以上18名)
事務局職員 東区役所 山下区長、辻林副区長、西澤東保健福祉総合センター所長、
小川自治推進課長
企画総務課 山元課長、松永課長補佐、中部企画係長、友兼主査、酒井
傍聴 傍聴人 1名

案件

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 構成員紹介
- 4 議題
 - (1) 座長の選出等について
 - (2) 令和3年度から取り組むべき事案について
 - (3) テーマ別会議について
 - (4) その他
- 5 閉会

配付資料

資料1 堺市東区政策会議構成員名簿
資料2 令和3年度第1回堺市東区政策会議 座席表
資料3 堺市区政策会議に関する条例
資料4 堺市区政策会議に関する条例施行規則
資料5 堺市東区政策会議開催要綱
資料6 堺市東区政策会議 概要
資料7 堺市東区みんなで育むわがまちビジョン
資料8 堺市東区みんなで育むわがまちビジョン 概要版
資料9 テーマ別会議(プラットフォーム)について

【追加配付資料】 東区わくわく散策マップ

【会議内容概要】

1 開会

(配布資料確認)

2 区長挨拶

(本会議への参加お礼に続き) 東区政策会議は、平成27年に設置した市長の諮問機関である区民評議会を廃止し、今年6月に施行した条例に基づくもので、従前の区民協働をより柔軟にまたより区民参画をめざし、区長の政策立案を支える会議として設置しました。この会議では、皆さまを中心に検討テーマに沿う関係者等をメンバーに加え、調査研究から政策立案、実践するためのプラットフォームを設置、活動することで東区の魅力の向上、発信、課題解決につなげていきたいと考えております。

【引き続き山元課長から、資料6(参考に資料3~5)に基づき会議概要の説明】

区の実情、特性に応じた政策形成、施策の推進を図るために区政策会議を設置し、様々な視点で幅広く意見をいただき区の魅力向上や課題解決に向けた取り組みを推進することを目的としています。任期は令和5年5月31日までの2年間、年2回程度の会議開催を予定しています。

3 構成員紹介

資料1及び2に基づき構成員18名を紹介。

その後、区長以下、区役所出席者9名を紹介。

4 議題

(1) 座長の選出等について

出席構成員の互選の結果、池崎守氏が座長に選出された。

【池崎座長就任あいさつ】

地域のために区役所と住民が本当の意味で協働していくことは重要であります。大きく世の中が変化する中、特に子どもたちに何を伝えていくかが重要であり、また対応能力の高い子どもたちに育ててほしいとの思いがあります。皆様のご指導を得て、しっかりとまちづくりに取り組んでいくことができたらと心から願っております。

続いて、職務代理については山本淳一氏が指名された。

(2) 令和3年度から取り組むべき事案について

事務局から資料8を基に堺市東区みんなで育むわがまちビジョン(以下「ビジ

ョン」という)を説明し、今年度から取り組む事案としてビジョンの基本方針4の「歴史・文化」を主要テーマに取り上げていただきたいとの提案をした。

【各構成員発言要旨】

- 「住み続けたいまち」とはどんなまちなのか。新たに住民となった方は東区についてどう感じているのか。また、道路が狭く歩道がないなど安心安全なまちが作れるのか、特に通学路のことはもっと考える必要がある。
- 退職してからこのまちのことが気になり自治会を手伝っているが、「歴史・文化」の説明を聞き興味を持ち、東区の魅力を知りたいため一緒にやっていきたい。
- 50年住んできて住みやすいまちだと感じる。マンション住まいの方々には歴史に対する興味は弱いと思うが、文化は興味を持ってもらえると思う。
- 誰に発信するのかを決めないとテーマが広くなりすぎるので、東区民に対するのであれば歴史を知ること誇りが持てるようになり愛するようになる(シビックプライド)のでこれの醸成には役に立つ。「文化」は新しいものだけではなく古きを知って新しくを知ることができる。歴史に考え方としてSDGsと絡めるという案もある。
- マンション住まいだが住みやすくまた歴史も深いことを知り、これを眠らせずに子どもたちにこの良さを知ってほしいし住み続けるまちにしていきたい。
- 大泉公園から深井に抜ける都市計画道路も一部進んでいるが、東区は開発されていないところが多いと思うので、これから東区は発展するのではと期待している。
- 自分の地域の住民は地域に愛を持っており、誇りに思っている。東区は歴史のあるまちで歴史文化を子どもたちに伝えていきたい。
- 東区には大きな公園がなく避難場所に不安がある。公園プロジェクトを進めることで校区同士の連携が生まれ、そこから歴史・文化につなげればよいと思う。
- 「東区わくわく散策マップ」を見て初めて日常目にしている風景の中に知らない歴史があることに気づいた。これら歴史を掘り下げて誰に何を発信するのかが重要であり、区長が描かれている理想に近づくためお手伝いできたらと思う。
- 小学校歌の中に「歴史ゆかしき」の歌詞があることから歴史をテーマにすることはよいのでは。防災にも注目が必要であり、防災訓練は行っているが、災害が起こった時にどうすればよいか不安があり、その方策を考えていきたい。

- 住民同士が交流することで災害時でも協力しあう地域であればと思う。この会議でも歴史文化の興味あるものが見つかると思うのでお手伝いしたい。
- 野田は東区の端にあり、地元の氏神（神社）の菅生神社が東区ではなく美原区にあるので、歴史文化で作業を進める上では検討を要すると思う。
- 南八下は水田が多くため池も多い。ため池の歴史を含めた南八下の歴史文化を数年前にまとめ製本化した。毎年、小学校の設立記念日に昔話を生徒たちに行ってきた。校区連合自治会でも報告し、いろいろな意見を聞いていただき、次回会議で発表してほしい。

(3) テーマ別会議について

事務局から資料9を基に本会議構成員に加え、有識者や関係団体、民間事業者などの参画を想定するプラットフォームの構築について説明し、歴史分野と文化分野の2分野で進めていきたいことと、またどちらの分野に所属するかを決定したいと提案。

座長から、各校区でどちらかを選択してほしいとの提案により、南八下、八下西、登美丘西、野田の4校区が歴史分野を選択、残る5校区は文化分野を担当することとなった。なお、座長は両分野に関与することで全員賛成。なお、各分野の中心となる方については、それぞれの会議を進める中で決めていくこととなった。

(4) その他

事項なし

5 閉会